

20歳でも発症する！ 子宮頸がんを知っていますか？

～子宮がん検診はあなたの命と未来を守ります～



20代、30代で子宮頸がんになるのは少数派なのでは？

子宮頸がんの原因のほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)の持続的な感染によるもので、若い人に増えています。

HPVは性交渉による感染がほとんどですが、誰でも感染する可能性があるありふれたウイルスです。その中でも1000人に1～2人の割合で子宮頸がんになる人がおり、20代、30代で増加傾向にあります。

子宮頸がん検診が効果的です！！

子宮頸がんは、早期の段階では自覚症状がないので、定期的に検診を受けることが予防の第一歩です。

早期に治療すれば、80%以上が治癒し、妊娠・出産も可能となります。



HPV検査について

HPV検査はウイルス感染の有無を判定する検査です。

子宮頸がん検診と併せてHPV検査を受けると、がんになる前の段階で高い確率で見つけることができます。

HPV検査を市町村として実施しているところはまだ少ない状況ですが、希望する方はまずは市町村に相談してください。

山形市の子宮がん検診は2年に1回、20歳から受けることができます。

また、21歳になる年に子宮がん検診無料クーポン券を発送しています。(7月中旬頃)

詳しくは、山形市ホームページで「健診べんり帳」と検索してください。



裏面もご覧ください

ブレスト・アウェアネスを知っていますか？



「ブレスト・アウェアネス」とは、女性自身が、自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することをさします。



ブレスト・アウェアネスを習慣づけましょう！

ブレスト・アウェアネスは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療につながる、女性にとって大切な生活習慣です。ブレスト・アウェアネスを身につけるために以下の4つの項目を実践しましょう。

- ①乳房の状態を知る「見て、触って、感じる」
- ②乳房の変化（しこり、皮膚の凹みや血性の乳頭分泌など）に気を付ける
- ③乳房の変化に気づいたらすぐに医師に相談する
- ④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受診する

～乳がんセルフチェックをしてみましょう～



4本の指の腹で、「の」の字を描くように触り、しこりがないか、また、乳首をつまんで分泌物がないか確認しましょう。



4本の指の腹で、「の」の字を描くように触り、しこりがないか、また、乳首をつまんで分泌物がないか確認しましょう。



お問い合わせ

山形市保健所 健康増進課 成人保健係

【電話 616-7272】

山形市城南町一丁目1-1 霞城セントラル4階

月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）

8時30分～17時15分